

1. 件名：高浜発電所 1、2号機 海水電解装置建屋における火災
2. 日時：令和4年12月12日 11時00分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁2階打合せスペース
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 実用炉監視部門

菊川管理官補佐、小野原子炉解析専門官、林原子力規制専門員

原子力規制部 原子力規制企画課 火災対策室

星野室長補佐、北嶋室長補佐

長官官房 総務課 事故対処室

近田係長

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）

東京支社チーフマネジャー他1名

5. 要旨

(1) 令和4年12月9日に発生した高浜発電所 1、2号機の海水電解装置建屋における火災について、関西電力から以下のとおり説明があった。

- 海水電解装置室2階にある海水電解装置室コントロールセンタ（以下「C/C」という。）ユニット及び当該C/C母線の点検完了に伴い、復旧操作として当該C/Cの上流にある取水口C/Cの電源を当直員が投入したところ、海水電解装置室C/Cへ取り付けていた接地器具の母線側付近の被覆及び当該C/C前の床上に置いてあったビニール袋から出火した。
- 直ちに現場作業員が消火器により消火し、その後、公設消防により鎮火が確認された。
- 現在、原因調査を行っている。

(2) 原子力規制庁から、本件について日常検査で確認していく旨伝えた。

6. 提出資料

資料1：高浜発電所 1、2号機 海水電解装置建屋における火災について

以上